よこす

題字:横須賀市長 吉田 雄人

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

☆ 7月3日 横須賀中央地区

『非行防止にご協力お願いします』不入斗、 常葉、大津中学校の生徒27名、学校長、先 生5名、推進員23名の総勢55名で、16 時から横須賀中央駅前で、チラシ、ティッ

シュ、風船を 配りながら呼 びかけをしま した。

時々小雨が 降りとても蒸 し暑い中不 入斗の生徒が 着ぐるみを着 て、大汗をか



きながらやってくれました。

呼びかけも初めは恥ずかしく小さな声で、 チラシを渡す手もすぐ引っ込めてしまう感じ でしたが、だんだん慣れてくると呼びかけも 大きな声になり渡すコツも覚え、もらってく れる方も増えてきました。

終了後生徒は「楽しかったけど受け取って もらうのが難しかった」「同世代の人が受け 取ってくれたのは嬉しかった」

先生は「子どもたちの笑顔のおかげで受け 取ってくれる方が多かったと思います」と 語ってくれました。

このキャンペーンが少しでも実を結んでい くと、嬉しいと思います。 (松元 陽子)

★ 7月24日 追浜地区

「あつい!」そんな声があちこちから聞こ えてくる猛暑の中、15時より学校長、先生、 中学生、高校生の手伝いで風船作り開始。

吉田市長、市議会議員、推進員12名、自 治会長4名、保護司他総数54名が参加。

16時より市長みずからティッシュ配りを し、その後汐入の非行防止キャンペーンへ。

学校長と卒業生との出会いがあったり、中 学の女子生徒の手渡しに、顔をほころばせて ティッシュやチラシを受け取ってくれたり、 一時間はあっという間に過ぎてしまいまし た。着ぐるみを着た高校生は汗びっしょりか きながらも小さな子どもが喜んでくれると、

一生懸命相手を してくれました。

大人から子ど もまで皆で力を 合わせて「非行 防止キャンペー ンをしています」 との声かけに道 行く人が笑顔で



ラシを受け取ってくれるのはとても嬉しい ことです。今年は中学生18名、高校生4名 も手伝ってくれました。

若い人の力に感謝。 (萩原 康子)

★ 7月24日 汐入地区

今年も「非行防止キャンペーン」を暑さに 負けず元気に行いました。

16時から汐入駅周辺、メルキュールホテ ル前、ダイエー近辺という事で、暑さの心配 をしていましたが、やはりまだまだ涼しくな らず、その上風も強い悪条件でした。

坂本中学校生徒18名をはじめ各学校長・

先生並びに坂本中 学校区地域育成関 係者など総勢60 名の方々には、 配ったお茶で水分 補給をしながらの 協力をお願いしま した。

準備したティッ シュ、チラシ、風 船を3ヶ所で配布し、途中からは追浜の「非 行防止キャンペーン」に参加していた吉田市 長も応援に駆けつけてくれました。

このような活動にいろいろな人が足を止 め、興味を示してくれたことで小さな輪がや がて大きな輪になってくれることを予感した



なによりも炎 天下に着ぐるみ を着てガンバッ テくれた生徒を はじめ、何事も 無く無事終了し たことが一番良 かったと痛感し ております。

(佐藤 洋子)

☆ 新任者研修会 -昼の部-

5月14日 はぐくみかん

まず、青少年育成推進員の成り立ち、組織、活動内容そして連絡協議会においては広報、研修、育成、環境の各研究部会に所属して活動することについて説明がありました。

地域においては、中学校区にある青少年育成活動地域連絡会に所属し、町内会・学校関係者、その他青少年関係団体との情報交換やパトロールを通して、子どもを健全に育成する等の講習を受けました。

次に、はぐくみかん見学です。プライバシー 保護や安全性においてよく管理されていると 思いました。

見学の後、パトロールの実践です。最初に「無理に年齢を聞かない」「声かけの言葉に気をつける」等の説明をうけていざ!出発。

大人の目から死角になっている子どもが集まりやすい場所や、裏道を通りながら40分ほどのパトロールを終えましたが午後3時ごろだったせいか、学生の姿もまばらでした。

声かけの基本は、頭ごなしにならないようにということが、とても大事なこと。また、子どもたちは仲間といるときは、集団心理が働き、乱暴な行動をとることも考えられるので人通りの少ない場所や夜間などは絶対にひとりで声かけしないようにとのことでした。

本日は足早の研修でしたが、身近にいる子どもたちに目を向けるよう、活動していこうと思いました。 (杉﨑 きよみ)

☆ 新任者研修会 一夜の部一

5月14日 総合福祉会館

私は2期目ですが、他地区ではパトロール をどのように行っているのか興味があり、夜 の部に参加しました。

最初は役員から連絡協議会の組織の説明があり、とてもわかりやすく私も興味深く、自然と耳を傾けていました。

そしていざパトロールへ。地域柄もあると、思いますが、ゲームセンターへ行ってみるをと、著い世代の父母が子どもと一緒にゲームなをもした。時間が遅かっちりました。時間が母立ちり禁止ですると、場所を変える親等はしていまりに。地域で声かけをして安心安全なまりた。地域で声がはとして活動していきたのため、(沼田 初恵)





★ 夏の思い出の1ページ

7月27日 北下浦中学校

7月27日、北下浦中学校区夏のイベント『そうめん流し』を実施しました。地域の幼い子どもからお年寄りの方も楽しみにしているイベントで、参加人数も毎年増えています。

準備の竹取り から参加した中 学生たちは、当 日、取ってきた 竹を使って箸立 てや器などを 作っていまし た。また、他の 中学生たちも、 ネギをきざんだ り、みかんの缶 詰を開けたり、 そうめんを流し たりと、さまざ まに働いてくれ ました。

食べる段にな ると今度は、そ うめんの中に缶詰のみかんが流れてきたと喜ぶ無邪気な一面、小さな子どもにそうめんを取ってあげたりする優しい一面を見せてくれました。 そうめん流しを通して見せてくれた中学生

そうめん流しを通して見せてくれた中学生 たちの輝きを、私たち地域連絡会は地域の

方とポートとおります。

沢方マトしや奏中楽にだれていた。8中と一』た吹及学も聞きれてに校にン行高楽北の域でした。長のサーま生演浦音方た。

玲子)

(小幡



★ チョコバナナ教室

8月21日 総合福祉会館

青少年育成推進員向けに連絡協議会として 年2回研修をおこなっています。第1日人気 して、祭り・イベントで子どもたちに人気。 チョバナナの作り方教室が行われました。 チョバナナの作り方教室が行われました。 よいは比較的器材の準備が簡単で材料費 して、多くの子どもたちに振る舞うのに適かないます。 また祭りで見かけてす。 そういなかまた では作る機会がないものです。 そういた育成 推進員で推奨しています。

推進員で推奨しています。 調理実習参加者は市内各地の青少年育成推 進員で、見たことはあるが口にしたことがな い人が比較的多く、まずは好奇心からのス タートでした。

チョコレートはコーティング用チョコを使用。一般に食べるチョコと違い溶ける温度が45 \mathbb{C} \sim 50 \mathbb{C} 、それ以上あげるとドロドロになり適さないとのこと。またこのチョコは余り甘さを感じないものでバナナとの味のマッチングはどうか少し不安がありました。

チョコを溶かすにあたっては、決して水あるいはお湯を混入しないことが鉄則です。このような前置きは別として溶けたチョコをバナナにかけてなんとか形になり、カラーリングにチョコスプレーをふりかけて1本出来上がりです。

チョコレートのサラサラ状態で、すなわち チョコ溶解の適温の維持とデコレーション チョコスプレーのまぶし、いずれも大きな失 敗は少ないものの狙い通りに作り上げるのは 至難の業でした。

バナナの硬さと差し込んだ割り箸とのフィッティングとグリップ機能が思ったより難しく刺したバナナが重みで箸に固定できないなど「売り物にならない」ほどの失敗はな



★ 非行防止強調月間パネル展示

環境研究部会 織田 俊美

7月は全国一斉の青少年の非行・被害防止 強調月間です。毎年内容を少しずつ変えなが ら、市役所北口の掲示スペースにパネルを展 示しています。

毎年同じ場所に展示していますので、より 多くの方々にパネルを見ていただき、少しで も青少年の非行・被害防止に対しての意識を 高めていただけたらと思います。

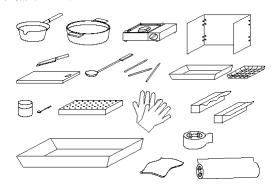
パネル展示期間は1週間でその他には活用 の機会があまりありません。各中学校区等の いものの完璧を求めるとこれも一つの「チョコバナナ道」として極める道があるかもしれません。

出来上がったところで全員で試食、ちょっと不安のあったチョコの甘みの低さが意外とバナナの甘みとマッチして適度のおいしさとなり、チョコバナナ結構なお味でした。

この教室では作り方から一歩進んで、事業計画と採算ラインの解説があり、スタッフの必要員数と材料の仕入れ先、方法・器材の準備法など詳細な説明がありました。

10月に行われる「わんぱくフェスティバル」でもこれを500本以上つくる予定です。 以下に作り方を記します。

準備するもの



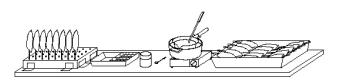
作る手順

1) ボールに入れたチョコレートを「湯煎」し、45 \mathbb{C} \sim 50 \mathbb{C} でサラサラにしこれを維持します。

2) バナナは1/2に切り割箸で串刺しにします。バナナの皮は箸を刺した後に剥いてください。

3)お玉を使いバナナにかけます、溶けたチョコレートに浸すとバナナがチョコの中に落ちることがあります。

4) チョコスプレーをふりかけ出来上がり。 いたって手順は簡単ですが、さてさて狙い通 り作れるかどうかは自ら研究してみてくださ い。 (澤谷 清)



行事などに積極的に活用していただければ幸 いです。



☆ 横須賀三浦地域青少年指導員活動研究会

6月9日 県横須賀合同庁舎

梅雨の晴れ間の太陽がまぶしい中、横須賀三浦地域青少年指導員活動研究会の「思いやりの心を育てるレクリエーション」が開催されました。講師は、白梅学園短期大学で社会福祉士と介護士の資格を持つ高橋紀子さん。

第一印象は「太陽みたいな人」で、とてもはつらつとしていて、話し出すとその場の雰囲気がパッと明るくなるのがわかりました。

そんな楽しい雰囲気でいろいるな「思いやりの心を育てるレクリーといって1人をいって1人がった。例になって1人がったのでは相手が何を出したか分からなりましたのが自たのからなりませんがでありませんが「じゃんけんがからなけたのかりでありませんがでありませんがでありませんがであります。これが「相手を思いやる心」なのです。これが「相手を思いやるい」なのです。

高橋さんは「レクリエーションとは生活を 豊かにすること」だと話されました。子ども たちの心を豊かにするためにはレクリエーションを通じて子どもたちを慈しみ育て「あ のおじちゃん、おばちゃんと一緒に居ると楽 しい」という雰囲気を地域の子どもたちに広 めていくことが私たちの役割であると感じま した。(牛越 竜夫)



♪ ゆうやけこやけ ♪

今年の例年にない暑い夏の最中、地域の お祭りで目にしたことです。「おう、今年 は暑かったけど頑張って太鼓の練習に来た なぁ」「・・うん、楽しかった・・」「また来年待ってるからな。今度は山車の上で やらせてやるぞ!」地域の世話役のおじさ んと、ちょっと恥ずかし気な小学生とのや りとりです。普段は目を合わせてくれない 中学生もお祭りの雰囲気のせいかおしゃべ りに花が咲き、大人に混じってお囃子で大 活躍。年に一度のお祭りは地域の人との繋 がりを痛感する時です。希薄な人間関係が 元凶で起こる悲しいニュースが多くなる昨 今、たった年に一度のお祭りで話すだけの 関係でも、とても大切なものに感じます。 来年、あの小学生達も山車の上で楽しそう に太鼓を叩くことでしょう。(Y. A)

★ 青少年の健全育成を進める県民大会

7月10日 厚木市文化会館大ホール

かながわ青少年社会環境健全化推進会議、 県青少年総合対策本部及び厚木市の主催で、 関係65団体約1000人の参加で開催され ました。

青少年をめぐる問題が深刻化する中で、今 大人として何ができるかを考える場として、 開式に続きパネルディスカッションを行った 後、大会アピールが採択されました。

コーディネーターに神奈川大学の久田邦明氏、パネリストとして小田原市のぴよぴよクラブ椎野典子氏、県立永谷高校周辺コンビニ連絡協議会副委員長西木治夫氏、森の里地区青少年健全育成会連絡協議会長青木信二氏、青少年パネリストとして3名の高校生を迎え、テーマは「青少年と大人が共に担う地域の活動を」で行われました。

椎野氏は保護者・母親教育のため伝統行事紹介から中高生ボランティア体験、家庭教育の実践と、幅広い幼児〜親子支援の経験を話されました。

西木氏は警察・学校・PTAとコンビニが 連携し店頭にシールを貼って一年半で万引き が激減した。高校生の相手をしてあげる大人 たちの出現が大事であると話されました。

青木氏は中学生が地域で活躍できる場として「まつり」等ふれあいを通して子どもでろれる。学校でおり、一次と防災訓練の合同開催や「ミートを得たミニもりプロジェクトとして大人の模擬店の中で「働き・稼やドロリンという会員通貨でのショップ体験やドロリンというなどで人と人が繋がる。子どもは地域作りのパートナー等の話をされました。

高校生からは「あいさつは心と心をつなぐ 架け橋ではないか」などの提起もあり、大変 有意義な大会となりました。

(芦澤 雄一)

編集後記:

ベテラン推進員の方々から編集作業の役割、分担等の説明を受け、新しい仲間とともに32名でスタートしました。育成お進員の活動内容をできるかぎりたくさださ伝えし、より多くの方々に知っていたださになります。また、この結動を通じで区にお互いの親睦を深め、その輪が各中学校とお互いの親睦を深め、その輪が各中学校といきまに広がっていけばと思っております。 (編集担当 渡辺美子)

「よこすか育成通信」第9号 発行/横須賀市青少年育成推進員連絡協議会 会長 安藤 隆正

〒 238-8550 横須賀市小川町 11 番地 横須賀市役所こども育成部 こども青少年企画課内

TEL 046-822-8223 http://www.city.yokosuka.kanagawa. jp/hagukumikan/ikusei/